

十分に議論し 表記の統一を

(神奈川県、國吉眞正、69歳)

神奈川県からもウチナ
ーグチを伝えていくため
の真剣な意見が届いた。

沖繩の言葉を継承する
ことについて、今、最も

大切なことを考えてみた
と思います。書店など
に出ている沖繩の言葉で
書かれた書物や、新聞を
読みますと、いろいろな
方がいろいろな書き方を

しています。その中には

間違いも多く、しかも、
これが沖繩の言葉かと思
われるものもあり、がっ
かりします。

そこで、大切なことの
一つ目は、きちんと書く
ために表記の統一委員会
(仮称)を早い機会に立
ち上げることです。委員
会は行政が中心となり、

沖繩の言葉に関係するあ
らゆる分野から委員を招
いて構成します。表記を
確立した後、表記と用語
の辞典(仮称)を作成し
ます。これを標準書とし
て、書物や新聞を発行す
ればよいのです。

二つ目は、沖繩の言葉
検定委員会(仮称)を設
置することです。これも
前者と同じように行政が
中心となり委員会を構成
します。この委員会の使
命は、出版物が標準書に
沿って編集されているか
を検定することにあります
。この仕組みが確立さ

れると、いいかげんな出
版物が出されないことに
なります。

次世代へ正しく継承し
ていくためには、ここに
挙げた二つのことは、大
切なことと思います。時
間がかかりますが、十分
議論して慎重に進めなけ
ればなりません。美しい
沖繩の言葉を次世代へ伝
えることは、多くの方の
声です。書いて伝えるこ
とについて、皆で考える
大切な時期です。
(神奈川県、國吉眞正、
69歳、沖繩語を話す会
「東京」事務局長)